



# アルゼンチン通信



第18号 2026年01月31日発行(毎月月末発行予定)

JICAシニア海外協力隊2024年1次隊:経営管理

玉東町グローバル2024年03月卒業生

鈴木功二 サンティアゴ・デル・エステロ在住

増水して河川敷の道路まで  
水に浸かったドゥルセ川



・1月は、12月と同様に、日中40℃近くの暑い日があったり、急に冷たい空気が入ってきて雨が降り、涼しい日になったりの日々が続いています。外ではずっと半袖ですが、事務所内は冷房が効きすぎて、長袖を着ることもあります。

・私が住んでいるサンティアゴデルエステロは、雨が少なく乾燥している印象でいたのですが、今月は雨の日が比較的多かった為か、日本の夏ほどではありませんが、少し蒸し暑く感じます。市の中心を流れている川の上流で大雨が降り続いたようで、増水して、河川敷まで川になっており、一部居住地域の道路が水没しています。日本の線状降水帯のような大雨は降らないのですが、高低差が日本ほどではなく、川が海に流れ出していないことが増水の原因のようです。日本の洪水は急流で堤防が決壊するイメージがありますが、こちらは日々、徐々に水かさが増す感じです。増水でできた水たまりや湿度が高い為か、最近では蚊に刺されるのが多く、蚊よけスプレーを使うのが私の日課になっています。

・1月は元旦だけが祝日で、他に祝日はありませんでした。日本のような正月連休はなく、正月なのに夏で暑いので、正月気分になることはありませんが、学校が休みで、周りの人が一週間とか一カ月の休みを取っているの、バケーションシーズンに入った実感があります。

今回はアンセス(国家社会保障局)を紹介します。

・私は、毎朝7時40頃、徒歩で15分の駅に歩いて行くのですが、途中にアンセスの事務所があって、毎日100人以上の行列ができています。1月2日でも30人ほどが行列、多い時は200人以上の行列を見たことがあります。アンセスは8時に開くので、行列はすぐに解消されるのですが、この1年以上、なぜ行列ができるのかずっと不思議に思っていました。

・アンセスとは、1991年に設立されたアルゼンチン政府の人材資本省の管轄下にある社会保障の実務機関で、①年金退職金、②家族手当(子ども手当)、③失業保険、④障害者支援、⑤教育・労働支援の給付手続きを行っています。人材資本省は、社会保障以外に教育も管轄しているので、日本で言えば、厚生労働省と文部科学省に相当するのでしょうか。

①年金・退職金の給付: 日本では退職金は退職時にまとめて支払われるのが一般的ですが、アルゼンチンでは、「年金」の一部として月々支払われます。年金の受給開始年齢が、従業員の場合、女性は60歳以上、男性は65歳以上と、男女差があるのに、農業労働者の場合は性別に関係なく57歳であったり、教師は辺境地に勤務か否か条件が違ったりで、職種によって違うのが興味深いです。これは、身体的な負担や健康リスク等が職種によって違う為のようで、細かなことにこだわらない大らかな国民性とは相容れない気がします。

② 家族手当(子ども手当、AUH): 失業者や非正規労働者など社会的弱者の家庭に対して、子どもの就学証明・健康診断や予防接種等の証明を条件に毎月給付金が支払われるもので、物価変動に応じて変わりますが、今は子供一人当たり約12.6万ペソ/月(約13000円)です。公務員等のような家族は対象外なので、私の同僚が「アンセスに行くことがない」というのは、うなずけます。日本は、「児童手当」と呼ばれていて、所得に関係なく、子供がいる全家庭に対して、子供3歳未満は15000円/月、3歳から18歳までは10000円/月が給付されます。日本では長らく「少子高齢化社会」と言われていて、出生率の低さが問題となっているので、目的が少子化対策なのに対して(実際は、出生率が低下し続けられているので対策にはなっていませんが)、アルゼンチンは出生率が日本ほど低くないので、社会的弱者の家庭を支援する色合いが強いように思います。実感として街中を散歩していると子供連れの親子が日本より多く、子供は皆かわいいのですが、中には、子供だけの物売りがいて、胸が痛むことがあります。貧困層への支援が子供の学習環境を担保できていないのは残念です。日本にも貧困層がいますが、子供の物売りを見ることはありません。

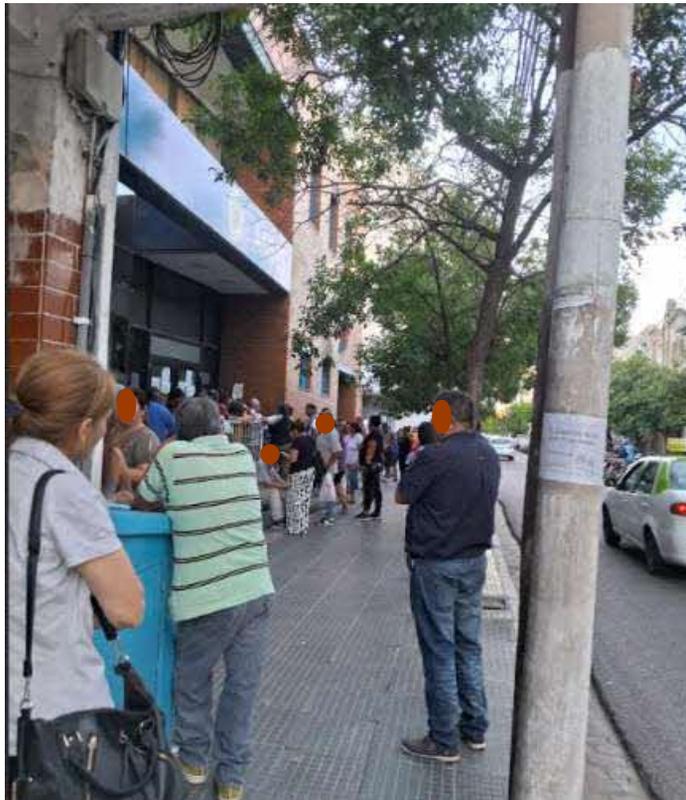
③ 失業保険：失業者への給付という意味で、アルゼンチンも日本も同じですが、日本では、給付対象が「雇用保険」に加入していた労働者、つまり労働者が保険料の一部を負担するのに対して、アルゼンチンでは労働者の負担がないことが日本との違いです。そういえば、私が日本の会社に勤務していた時、「雇用保険料」が給与から天引きされていたのを思い出しました。アルゼンチンの失業率は経済状況を反映して日本よりも高いのですが、私が住んでいるサンティアゴデルエステロ州の失業率は日本より低く、アルゼンチン内で最も低い水準です。これは、公共雇用政策の為と言われていて、産業が盛んな為ではないのが残念です。街中を歩いていると、広場には警官が少なくとも一人はいて、市内を巡回しているパトカーもよく見かけます。地方都市で元々治安がよい所に、警官が多いので更に治安が良くなっており、治安という付加価値に大いに貢献していると思いますが、例えば、工業製品を生産して外部から付加価値を得てはしません。私がいる事務所には展示場があり、青少年の研究発表会が開催されて、彼らの知的能力に感動したことがあるのですが、その能力を発揮できる産業が、このサンティアゴデルエステロ州には少なく、大都市に頭脳流出せざるを得ない状況にあるのが残念です。

④ 障害者支援：障害者への支援という意味で、アルゼンチンも日本も同じですが、日本では障害者の会社内の雇用率が義務化され、街中がバリアフリー化されている所が多く、社会進出し易いのに比べて、ここでは車いす等の障害者を街中で見るとは稀で、歩道が狭くて段差や未舗装があって移動し難く、社会進出し難い状況だと感じます。障害者の為のインフラは遅れていますが、人々は受容度は高く、例えば、私は、ここでは言語の障害者ですが、私のつたないスペイン語を、人々はなんとか理解してくれようとしてくれるのは有難いです。

⑤ 教育・労働支援：奨学金や就労支援プログラム等で、アルゼンチンも日本も同じようです。

・日本では、①年金は日本年金機構、②児童手当は市役所経由でこども家庭庁、③失業保険はハローワーク（公共職業安定所）等と、窓口が様々あるのに、アルゼンチンでは一本化されていて、利用者側にとって便利と言えるのですが、朝早くから列を作って並ぶ理由が私にはよくわかっていません。ネット予約できる医院の前でも朝早くから並んでいる人がいるので、並ぶことが苦にならない人と、レジに行列ができていたら買い物を諦める私のような人との違いなのかもしれません。

【アンセスの前で行列を作って待つ人々】



【アンセスの入口：首輪なしの犬が寝そべる】

